



松北だより「笑顔」

第21号 平成28年 7月 4日(月)

本年度の松ヶ江北小学校みんなの合言葉

【あいさつ・そうじ・時間のけじめ】

【やる気・本気・根気】

7月 廊下の隅々まで磨き、松北をもっと

ピカピカにして、夏休みを迎えよう

「あゆみ」の見方！

毎年この時期の松北だより「笑顔」に掲載させていただいております「あゆみ」の見方。松北の保護者の皆様には、どの学校の保護者よりも通知表「あゆみ」の趣旨等を深くご理解いただき、この「あゆみ」を最大限に有効活用していただきたいという思いで、本年度も、数回にわたりこの話題を・・・



北九州市立小学校の通知表「あゆみ」の表紙には、以下のような説明があります。

通知表「あゆみ」について

- 1 通知表「あゆみ」は、お子様の学校での生活や学習の様子などを学期ごとにまとめてお知らせするものです。お子様のよさや可能性を伸ばし、確かな学力を付けていくために、学校と家庭とが連携し合い、お互いに温かい指導を積み重ねていくことを目指しています。
- 2 ご家庭で、お子様といっしょにご覧いただき、お子様のよい点や進歩している点、努力してほしい点について誉めたり、励ましたり、元気付けたりして、やる気を起こさせる資料にしてください。

1に書かれているように、この「あゆみ」は、お子様の学校での生活や学習の様子という、あくまでも一側面を評価したものです。ご家庭等において見られる様子とは、違うこともある、むしろ違うことの方が多い、と言ってもよいかもしれません。そういうことを踏まえた上で、学校と家庭とが力を合わせ、様々な角度からお子様を評価し、見守り、育てていきたいものです。

2に書かれているように、是非、やる気を起こさせる資料としてご活用ください。

子どもたちに何かを強制的にさせたり、無理やりに教え込んだりすることは、ある意味では簡単なことかもしれませんが、それでは真の成長は望めないことは明らかです。知識等ならまだしも、やる気は教え込むことはできません。引き出すものです。そして、そのやる気を起こさせるための有効な手段が、適切に誉めたり、励ましたり、元気付けたりすることです。ただ、むやみに誉めても、あまり効果は上がりません。誉めるべきところ、頑張ったと子ども自身が思っているところを、誉めるべきタイミングで適切に誉める。これが意外と難しいものです。でも、私たち大人は、そこを頑張っていきましょう。各担任は、この「あゆみ」がそのための有効な資料となるよう、時間をかけ、精魂込めて作成に当たります。どうか、うまくご活用いただければと思います。

それから、これは私の個人的な思いなのですが、「あゆみ」を受け取られたら、まず「第1学期の出欠の記録」を見てあげてください。そして、もしも“出席皆勤”(最近はほとんど使わなくなった言葉ですが)だったときには、そのことをまず、しっかりと評価してあげてほしいと思います。

7月 廊下の隅々まで磨き、松北をもっとピカピカにして、夏休みを迎えよう

昨年度の2月頃だったと思います。プロの清掃業者の方をお願いをして、3階の廊下を徹底的に磨き、ワックスコーティングまでしてもらいました。

「この廊下の美しさを保ち続けよう」というめあてで毎日の掃除を頑張った、昨年度の6年生。その頑張りは、本年度にもしっかりと引き継がれています。6年生を中心に、毎日の掃除を本当によく頑張っている松北の子どもたち。学期末までに、今よりももっとピカピカの松北に。そして、今年の夏休み、今度は1階と2階の廊下を…！と計画中です。

＜あとがき＞

全校での1日平均病欠者数は
4月 0.63 人、5月 0.65 人、
6月 0.37 人。例年以上に欠席が極めて少ない松北です。